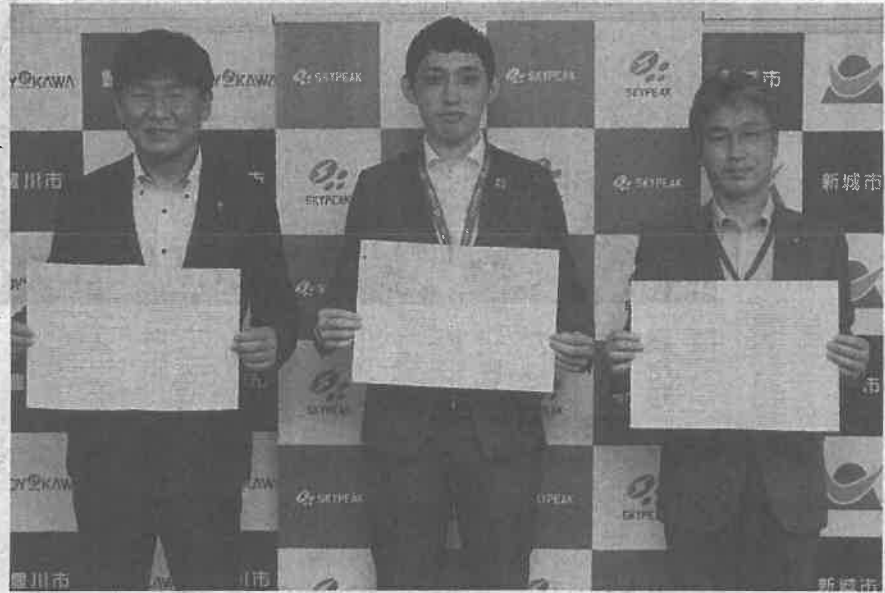


# ドローンで産業活性化

## 豊川、新城の両市 スカイピークと包括連携協定

豊川、新城の両市は23日、ドローン人材育成スカイピーク(本社、東京都)と地方創生に関する包括連携協定を結んだ。

両市が進める「東三河ドローン・リバー構想」に基づく新産業の集積を図るため、3者が緊密に連携し、それぞれの資源



連携協定を結んだ高野社長(中央)ら＝新城市役所で

を有効活用しながら地方創生に役立てる。スカイピークはこれまで、協議会の実証実験に協力してきた。

この日、新城市役所で締結式があった。豊川市の竹本幸夫市長と新城市の下江洋行市長、スカイピークの高野輝社長が出

席した。

協定は、社会実装に向けた人材育成▽地域産業の活性化▽社会実装に向けた実証実験と環境整備▽社会受容性向上のための普及活動▽地方創生の実現に関し必要な事業の5項目。3人が協定書に署名した。

「献度」を評価軸に加えた上で、材料や装置、シス

研究や技術者の育成にも貢献している。

下江市長らは「3者が協力し、新産業の集積と地域課題の解決に向けて取り組んでいきたい」と話した。

あいさつ。高野社長は「地域と連携して継続的な政策を考えた。昨年11月に鈴木寿明市長や蒲郡青年会議所メンバーの前で政策を最終報告した。

## 高齢者と若い世代をつなぐ「ガマホーム」

### 蒲郡若者議会が提案実現

若者が蒲郡市に必要な政策を考える「蒲郡若者議会」第1期福祉委員会が22日、最終報告会で提案した高齢者と若者をつなぐ家「ガマホーム」を、

歩行者天国「第98回福寿稲荷(ごりやく市)」で実現させた。

第1期若者議会は、学生や社会人の有志23人が福祉や観光、子育て、地



ガマホームを体験した来場者＝蒲郡市元町で

域、娯楽と五つの委員会に分かれ蒲郡に必要な政策を考えた。昨年11月に鈴木寿明市長や蒲郡青年会議所メンバーの前で政策を最終報告した。

福祉委員会は、若者と高齢者が交流できる場の提供として空き家を活用した「ガマホーム」を発表。内容を聞いた市老人クラブ連合会会員で市議会議員の大向正義氏が興味を示した。委員会メンバーと大向氏はガマホームの実現に向け、市民が気軽に立ち寄れる場所や時期などについて協議を重ね、幅広い年齢層が訪れる「ごりやく市」での開催を決めた。

この日、福祉委員会の宮松孝也委員長らは「ごりやく市」が開かれた元町の空き家を使い、ガマホーム第1弾としてドラ

